

基本目標2 施策2

リーディング事業の名称	事業内容	平成27年度中の取組
<p>高度人材交流拠点の形成</p>	<p>京都の知的交流の場に大学の研究者や芸術家など世界のトップレベルの優れた人材を呼び込み、相互交流や地域との交流を促すための交流拠点を市内都心部につくる。それによって、世界的な人的ネットワークの形成等を図るとともに、新たなビジネスの創出や企業間のオープン・イノベーション、グローバル人材の育成など、様々な分野で価値創造を生み出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部局と事業の具体化に向けて協議</li> </ul>
<p>京都らしいおもてなしの名人の育成などにより、京都ならではの「おもてなし」の更なる推進</p>	<p>特区による通訳案内士法の特例を活用し、伝統産業・伝統文化等を説明できる専門性の高い通訳ガイドを「京都市認定通訳ガイド」として認定することで、京都らしいおもてなしの名人を育成する。さらに、さすが京都と言われるような「おもてなし」を更に進めるため、「おもてなしコンシェルジュ」制度を充実するとともに、民間案内所の連携も含めた市内のおもてなし力を更に向上させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市認定通訳ガイド制度の開始（12月） 申込者555名のうち研修受講生59名を決定し、基礎研修を実施</li> <li>・京都観光おもてなしコンシェルジュ85名を新たに任命（3月）</li> </ul>
<p>グローバルMICE都市としてのMICE戦略推進事業</p>	<p>平成25年度に国の「グローバルMICE戦略都市」に選定されたことを受け、大学との連携強化による同窓組織へのアプローチや、MICEビジネスに関わる事業者や学術関係者による協議会の開催により、戦略的なMICE誘致活動等を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との連携強化による同窓組織へのアプローチや情報収集及びMICE誘致の推進</li> <li>・MICEビジネスに関わる事業者や学術関係者による協議会の開催により、戦略的なMICE誘致活動等</li> </ul>

基本目標2 施策2

リーディング事業の名称	事業内容	平成27年度中の取組
MICE誘致強化事業	MICE誘致の強化を図るため、大規模なMICEの開催に対する支援に加え、中小規模のMICE(例：学術会議，総会，研修旅行など)の開催も対象に加えるなど，支援制度を拡充する。	<p>次の支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模コンベンション開催支援助成金</li> <li>・京都らしいMICE開催支援補助制度</li> <li>・中・小規模MICE開催支援助成金</li> <li>・大規模国際コンベンション誘致支援助成金</li> </ul>
市バス・地下鉄の外国人旅行者へのサービス充実	多言語対応の券売機導入や案内表示の充実等により，外国人旅行者の利便性向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日 日本語・英語・中国語・韓国語を記載した案内マップ「地下鉄駅周辺ガイド」，「京都観光ガイドマップ」を発行</li> <li>・6月6日 3箇国語（日本語，英語，中国語）対応の「市バス・京都バス一日乗車券カード」の券面表記を発行</li> <li>・7月1日 3箇国語（日本語，英語，中国語）対応の「市営地下鉄1dayフリーチケット」の券面表記を発行</li> <li>・10月24日 京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”による案内（外国語対応）の開始</li> <li>・10月29日 市バス観光マップ「バスなび」中国語版，韓国語版の発行</li> <li>・11月17日 多言語対応ツールとして，市バス全車両に指差しによる「コミュニケーションボード」を，地下鉄の主要3駅，全案内所に「自動翻訳付きタブレット」を配備。</li> <li>・3月1日 地下鉄の残りの全駅へ「自動翻訳付きタブレット」を配備。</li> </ul>
琵琶湖疏水の魅力発信	<p>長年にわたって京都の市民生活や産業・文化を支えてきた歴史を持ち，今もなお取水施設としての役割を果たしつつ，市民の憩いの場としても親しまれる琵琶湖疏水の多面的な魅力を発信する。</p> <p>また，近代化産業遺産として，歴史的に高い価値を有する疏水施設の修復や，四季を通じて美しい景観を織りなす疏水沿線の緑地の保全を推し進め，一層の魅力向上に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の植栽</li> <li>・「琵琶湖疏水通船復活」試行事業実施</li> </ul>

基本目標2 施策2

リーディング事業の名称	事業内容	平成27年度中の取組
<p>外国人留学生の誘致、生活支援、就職に至る総合的な施策の推進</p>	<p>オール京都での留学生誘致・支援施策を推進するために設立した留学生スタディ京都ネットワークを軸に、大学や関係団体等と連携し、①生活や住居、交流、就職など留学生への支援施策の充実を図るとともに、②短期留学受入事業や③総合ポータルサイトの開設、④海外フェアの開催など、市内の留学生を増加させる取組を推進し、大学・学生の国際化及び市民の国際理解の促進につなげる。</p>	<p>留学生スタディ京都ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月29日 留学生スタディ京都ネットワーク設立</li> <li>・10月 京都留学総合ポータルサイトの設置</li> <li>・12月12日 台湾・台北市における京都留学フェアの開催</li> </ul> <p>「大学のまち 京都」の魅力を体感できる短期留学受入プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月26日～8月8日 夏期プログラムの実施</li> <li>・1月17日～1月30日 冬期プログラムの実施</li> </ul> <p>来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月1日～10月18日 試行実施</li> </ul>
<p>大学を核にした地域連携、企業連携の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都のまち全体がキャンパスとしての役割を果たし、学生が活動するフィールドを拡充するため、大学や学生が地域と一体となり、まちづくりや地域の活性化を図る「学まちコラボ事業」等に取り組むとともに、京都市と大学の連携事業や、地域と大学・学生の連携・協働を促進していく。</li> <li>・ また、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持った人を育成するとともに、留学生を含む学生が京都の企業を知り、京都の企業が学生を知る機会をつくるため、学生と企業が協働して、企業が抱える課題解決等のプロジェクトを経済界等と連携して推進する。</li> </ul>	<p>学まちコラボ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日～5月15日 事業募集</li> <li>・6月28日 公開プレゼンテーション審査</li> <li>・7月10日 認定式（14事業）</li> </ul> <p>グローバル人財育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月以降、11プロジェクトを順次実施</li> </ul>